

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

●岐阜県立森林文化アカデミー「公開授業」を開催

6月17日(水)に岐阜県立森林文化アカデミー(エンジニア科2年、クリエイター科2年)の「公開授業」を実施しました。

当コンソーシアムでは、以前から企業説明会により学生と企業との接点を設けてきましたが、昨年度から手法を変え、授業風景を参観し学生と企業がお互いを知る機会となる「公開授業」を実施しています。

この「公開授業」では、アカデミー(学生・教員)と企業が交流することにより、就職後の両者のミスマッチを無くすことを目的に、①学生は企業へ自身をアピールする場、②教員は授業に求める企業ニーズを探る場、③企業は学生をインターンシップや就業につなぐ場、学生に対応したインターンシップや就業内容を模索する場となるよう開催しています。

今回の公開授業では、まず土場でのA材、B材、C材への「仕分け」実習を参観しました。学生が自ら選別

する様子を参観し、選別基準などを学生に聞いたり、学生にどのようなことを教えているのか教員に聞くなどの交流を行いました。その後、演習林にて、「間伐」実習を参観しました。

「間伐」実習では、学生自らが高性能林業機械(タワーヤード)を操作し、荷掛けを行い集材する様子、伐倒する様子を参観しました。

昼食時には、学生、教員、企業参加者が昼食を食べながら意見交換を行いました。企業説明会とは違い、リラックスした交流を行うことができ、何気ない会話から、林業に携わる先輩としての企業参加者の話、インターンシップや就業の話など、様々な話をすることができました。



「仕分け」実習の様子



「間伐」実習の様子



「間伐」実習の様子



昼食時の意見交換の様子

●木材生産改善委員会 作業改善実施PJ 作業者同士の視察・意見交換会を開催

6月22日（月）に木材生産改善委員会の作業改善実施PJ（プロジェクト）にて、毎年実施している「作業者同士の視察・意見交換会」を高山市久々野町地内の笠原木材（株）の皆伐施業地で実施しました。

現場作業を担う作業者は、他の林業事業体の施業現場を視る機会や森林技術者と交流する機会が多くありません。

そこで、木材生産改善委員会では、他の林業事業体の森林技術者との交流の場を設け、施業現場の視察、森林技術者同士の意見交換を行うことで、視察側、受け入れ側の両事業体の森林技術者が労働安全性、生産性を向上させるための気づきの場とすることを目的に視察・意見交換会を開催しました。

視察・意見交換会では、まず皆伐施業の現場を視察しました。笠原木材（株）から現場状況や施業計画について説明してもらい、その後、施業現場の視察を行いました。視察では、参加者が気になったことを意見交換したり、情報交換などを行いました。

現場視察後、笠原木材（株）の事務所に移動し、参加者から現場視察を踏まえて感じたことや改善点などについて意見交換を実施しました。

参加者から、「作業者のリアルな意見が聞けてよかった」、「他の事業体の現場を見ることで新たな気づきが多くあってよかった」、「普段は、他の事業体の作業者と意見交換する場がないのでよかった」などの意見がありました。

木材生産改善委員会 作業改善実施PJでは、引き続き作業者同士の視察・意見交換会を開催していきます。



施業地概要説明



意見交換



意見交換

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp